


各 位



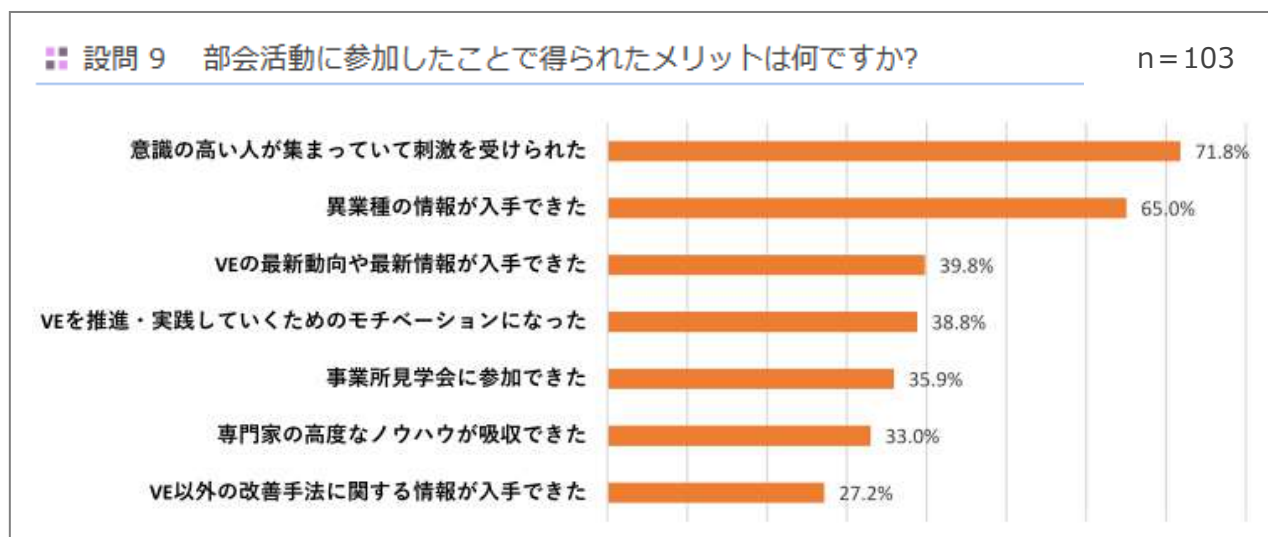
公益社団法人 日本バリュー・エンジニアリング協会
東日本支部 支部長 高橋 均

東日本支部 2018年度部会メンバーの募集について

弊会では東日本と西日本の2支部を置き、それぞれの地域でVE普及活動を展開しております。関東以北を主な活動エリアとする東日本支部におきましても、事業所見学会や特別講演会などを定期的に開催しているほか、切り口が異なる6つの「部会」を編成し、実務への応用展開を目的とした研究開発を積極的に進めております。

この部会活動には毎年150名近い方々が登録され、VE専門家による手厚い技術サポートのもと、下記のようなメリットが得られるとの高い評価をいただいております。

新年度を迎えるにあたり、2018年度（2018年4月～2019年3月）の活動メンバーの登録を広く募集いたします。この機会にいずれかの部会へのご登録をお勧めいたします。



2018年2月実施「部会活動に関するアンケート調査」より

◆ ご登録にあたって ※ご登録は一人2部会までとなります

- ・「GIVE & TAKE」が活動の前提です。実参加を伴わないメンバー登録はご遠慮ください。
- ・VEに関連する具体的なテーマで研究討議を行いますので、VEリーダーまたはVEリーダーと同等レベルの基本知識をお持ちの方の参加を希望いたします。

◆ 部会活動への参加費用について

- ・会員(法人・個人)および官公庁・行政機関の方は、部会への登録をはじめ、支部が主催する事業所見学会や特別講演会、部会内の研究活動に参加するための費用はすべて無料です。
- ・上記以外の方は、お一人様 30,000 円(消費税別)の部会登録料を申し受けます。

◆ 登録方法と締め切り ※添付の登録申込書により、事務局宛にEメールでお申し込みください。

- ・4月中旬から下旬にかけて各部会のキックオフが予定されているため、メンバー登録の受付期間を **4月10日まで** とさせていただきます。その後も随時登録を受け付けますが、部会運営上、できるだけスタート時点からのご参加をお勧めいたします。

2018年度 各部会の活動概要

- VEの適用範囲を広げる -

マネジメント部会

対象者: 経営スタッフ、起業家、新規事業・起業に関心のある方

主 査: 坪内正克〔横河電機株式会社 マーケティング本部〕

2016～2017 年度は、独自のモデルで新しい価値提供を目指すスタートアップ企業にフォーカスし、そのビジネスモデル構築のプロセスを研究してきました。不確実性が高い案件に取り組むスタートアップにおけるビジネス開発は、既存ビジネスの開発とは全く異なるパスを経ています。これまでVEの適用は主に既存ビジネスの分野を対象としてきましたが、当部会ではその枠を超え、スタートアッププロセスに適用できるVE手法の開発に挑戦します。ブルーオーシャン戦略やデザイン思考、リーンスタートアップなどの方法論とともに学び、研究していただける皆様の参加を歓迎します。

- ・研究テーマ: スタートアップへのVEの適用
- ・目 標: スタートアッププロセスの価値向上に貢献する具体的なVE手法を開発(年度内)
- ・活動スタイル: 机上の議論に加え、学習や検証を目的にスタートアップ企業訪問も視野に
- ・初回会合: 4月13日(金) 14:00～17:00 @日本VE協会



- VEの普及・定着と成果の拡大 -

VE推進部会

対象者: 改善活動の推進事務局、人材育成・教育研修部門の方

主 査: 大橋 守〔日立金属株式会社 電線材料カンパニー資材部〕

VE推進担当やコンサルの方々、VE推進に関わる課題について月1回、2つの分科会で活動しています。他社活動事例見学として、年に一度合宿研修も行っています。「VE普及推進研究会」(A分科会): 新たな研究テーマとして、メンバーの皆さんが直面しているVE普及推進面での課題を抽出し、その課題解決方法の研究を行います。「VE実践活用研究会」(B分科会): 「VE実践からの知恵の結集」を意識した実践に役立つ手法を研究しています。文献調査や実践しながらカン・コツ・留意点の抽出を行い、VEの実践・教育に役立つガイドブックを作成していきます。両分科会とも、研究の成果は資料としてまとめ、参加各社におけるVEのさらなる普及・定着と成果の拡大に役立ててもらっています。ぜひ一緒にVE推進上の課題を解決していきましょう。



- For SHIN-VE -

マーケティング部会

対象者: マーケティング全般、事業企画・商品企画部門の方

主 査: 沼澤朋子〔横河電機株式会社 グローバル業務革新本部〕

これまで本部会では、VEやマーケティングの手法を学びつつ、新たなVE活用を模索し、そのためのツールを開発し、検証してきました。2017年にはKKD(経験・カン・度胸)に頼ることが多いターゲティングのプロセスに着目し、VEの考えを活用することの有効性を研究しました。

2018年度は、ターゲティングの効率性につながるための情報・機能・狙いどころの伝え方について研究を進め、価値創造活動の支援に役立つ手法を開発したいと考えています。未来に向かって一歩踏み出すVEの活用を考えている方のご参加をお待ちしています。



- VEの価値向上 -

R & D 部 会

対象者: 新しいVE手法の創造、VEの普及・教育・実践などに携わる方

主 査: 三好達夫〔三菱電機株式会社 本社生産技術部〕

「簡単かつ大きな成果」VEの価値向上です。VEを簡単に！かつ大きな成果を！これからの時代に対応するため、関連手法を含め探究・研究・開発を行います。今年度は以下の2テーマを取り上げます。

使用者優先！参加メンバー皆様の役に立てることが第一です。多くのご参加をお待ちしています。

1. 差別化機能の研究チーム (リーダー: 斉藤)

Part IIとして、「IoT時代のVEアプローチの研究」に取り組んでいます。急速なIoT技術の進展によってすべての業界で大きな変化が顕在し、モノの価値は限りなく縮小。価値はサービスの共創へと移行します。このような社会に対応した価値(ベネフィット)を生み出すために、従来の方法にこだわらない新しいVE手順の構築を目指しています。

2. 機能定義の道具研究チーム (リーダー: 吉見)

機能定義はVEの根幹をなす作業でVEの拡大が図れる有用なツールの研究を行っています。昨年度は、「情報収集道具」、「機能の定義道具」の研究を行い、今年度は「機能の整理道具」の研究で完了させる予定です。今年度も「VEリーダー以上が使うVE道具」の研究を行いますので、皆様がお薦めする道具を紹介していただければ、いろいろな道具に出会えます。みなさんも一緒に研究してみませんか。



- 最適生産・最適調達のあり方を探る -

ものづくり部会

対象者: 調達・製造から据付・施工まで、ものづくり全般に携わる方

主 査: 佐藤尚吾 [パイオニア株式会社 コストエンジニアリング部]

「ものづくり」とは日本の製造業で発展したノウハウです。また、製造業にとどまらず、建設業、物流、サービス業などの現場にも良い教材、改善の模範があると言われています。当部会ではさまざまな業界や業種のものづくり現場に出向き、**現地・現場や現物を確認し、原理・原則や機能・手段などを学ぶことにより、最適な生産・調達のあり方やものづくりの改善手法・事例などをVEにとらわれることなく勉強・研究**しています。ものづくりに関心・興味のある方、どうぞお気軽にご参加ください。

●見学テーマを予め決めて、事前に関係情報を収集し、さらに見学時のポイントを予習します。
テーマは ①加工技術(知っているはず、等) ②生産性向上(IoT、AR、自動化など) ③物流関係 ④多品種・小ロット生産 ⑤人に絡むこと(人材育成や技術の伝承、モチベーションアップの工夫)

●見学ポイントに対し、現場見学や講演を通じて学び、意見交換を行うことで自社のものづくり改善のアイデアやヒントを得るとともに自己のスキルアップを目指します。また、見聞したことを元に考察を行い、見学報告書を作成します。その上で、見学できなかったメンバーも含めて座学で業界・業種・職種を超えた意見交換を行っています。



- 事業戦略からまちづくりまで -

社会インフラ部会

対象者: 建設業やコンサルタントなど、社会インフラに携わる方

主査: 曾我行雄 [株式会社フジタ 建設本部VE推進部]

社会インフラに従事する方々、VE活動の導入や進め方、問題点などを気軽に検討したい方々を対象として、様々な情報交換を行いつつ、下記の(A)(B)2つの分科会活動を展開します。参加メンバーの意見に応えながら、相互の情報交換と実習や技法を勉強するとともに、社会のニーズに応えるVE活動に必要なスキルアップを図り、社会に貢献することを目的とします。

(A)「企業ケース検討会」: リーダー: IHI・薄衣

ポーター賞を受賞した企業の分析を基に、**優良企業設計の手法を開発中で、マニュアル化を視野に入れ、VE手法の新しい活用方法を検討**しています。

(B)「建設VE研究会」: リーダー: フジタ・曾我

社会インフラの整備やまちづくりにVE手法を適用するための方法や手法を検討し、資料を作成します。今年度は、「**公共機関で利用可能な短時間VE手法の検討**」を中心に活動を進めます。



★ 部会ごとの定例会合以外にメンバー限定の特典もあります。どうぞ奮ってご参加ください。

- 1) 年数回行われる「**事業所見学会**」や「**特別講演会**」に無料で参加できます。先進的なVE活動や効率的な生産システム構築を行っている企業の取り組みを学んだり、VE関連技法や話題のテクノロジーについて知見を広げることができます。
- 2) 毎年3月に行われる「**活動報告会**」に無料で参加でき、講演者や他の部会に登録しているメンバーとの意見交換や情報交流がはかれます。

東日本支部

● 支部長

高橋 均(日立建機)

● 副支部長

薄衣光明(IHI)

三好達夫(三菱電機)

運営委員会(支部長・副支部長、部会主査・副主査で構成)

* 支部長および副支部長は運営委員または有識者から人選

* ミッションは支部年間計画の作成と進捗管理

運営企画会議(支部長・副支部長、各部会の主査で構成)

構造対策検討会議(歴代の支部長が今後の支部運営等を具申)

① マネジメント部会(経営スタッフ、新規事業・起業に関心のある方)

② VE推進部会(改善活動の推進事務局、人材育成・教育研修部門)

③ マーケティング部会(マーケティング全般、事業企画・商品企画部門)

④ R&D部会(次世代手法の創造、研究開発・設計部門)

⑤ ものづくり部会(調達・製造から据付・施工まで、ものづくり全般)

⑥ 社会インフラ部会(建設業やコンサルなど社会インフラに携わる方)